

ジェイアールバス東北本部

第38号

2022年3月25日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内
NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983
発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

申7号「2022年度夏季ダイヤに関する申し入れ」に関する団体交渉②

6, 各現場において拘束時間が13時間を超えるダイヤについては健康維持、休息時間確保のため13時間以内となるように改善すること。

(組合)各職場で拘束時間が13時間を超えるダイヤがある。やむを得ない場合を除き拘束時間は13時間以内とするべきである。会社の認識を明らかにすること。

(会社)13時間を超えないのが基本である。今後も改善に努めていく。

(組合)白沢事業所で要員不足により昨年からダイヤを減らしているが、拘束時間が長くなっている。これまで、拘束時間や休息時間などの問題から労使議論を重ねて現在の行路数に至っている。人がいないから、ただ単にダイヤを減らすでは納得できない。要員不足が解消した際は、元に戻す考えがあるのか。

(会社)あくまで要員の関係でのダイヤ減であるとの認識である。要員不足が解消した時は、拘束時間も踏まえて議論していく。

7, 乗務員負担軽減のために2泊以上の泊まり行路の最終日については、早めの退勤となるような行路とすること。

(組合)2泊以上の泊り行路において、行路の最終日の退勤が遅いダイヤが多数ある。早めの退勤となるようにすること。

(会社)盛岡支店については、見直しをした。基本的には、17時頃までの退勤が早い行路なのかと認識している。今後も可能な限り改善に努めていく。

8, 現在、運休・減便している便も含め今後のダイヤ等施策について明らかにすること。

(組合)4月1日から「弘前仙台線」、「いわき仙台線」が1往復減便となるが、理由を明らかにすること。

(会社)利用者数や今後の需要などを考え判断した。今後も要員など様々なことを加味したうえでダイヤ改正を行っていく。

9, 収益性向上とお客さまの利便性向上の観点からドリーム福島・東京号を羽田空港経由とし、首都圏発着点を以前の横浜駅東口に戻すこと。

(組合)ドリーム福島・東京号について、利便性が悪いと職場から声があがっている。収益向上と利便性向上のため羽田空港経由とし、発着点を横浜駅東口に戻すこと。

(会社)羽田空港に夜は入れない。また、TDLを外せば二度と入れないことを考えると大きな判断となる。今の状況だけではなく将来に向けて何が良いのか考え議論していく。

10, 現業機関の業務移管により乗務員の負担が大きくなっていることから、各職場の意見を最大限尊重したダイヤを作成すること。

(組合)仙台支店の現行ダイヤで以前は単独行路であった、いわき仙台便、仙台会津便の前に古川便を運行しているが身体的に厳しく改善を強く求められている。各職場の意見を最大限尊重したダイヤを作成すること。

(会社)今が確定ダイヤではない。コロナ禍でのダイヤであることを理解して欲しい。今後も本社が主体となりながら、現場と意見交換を行い適正かつ効率的なダイヤを作成していく。